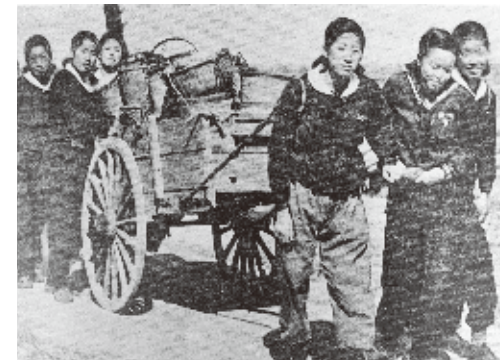
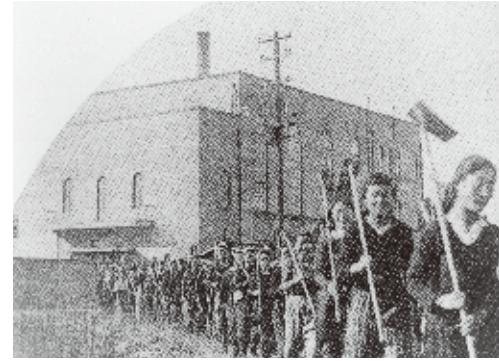


ふるさと

小山 薫堂／作詞 Youth Case／作曲 桜田 直子／編曲

朝焼け色のそらに 瞬く星一つ
小さな光が照らす 大いなる勇氣
何気ない日々の中に 明日の種を探せば
はじまりの鐘が響く今 君の為に
雨降る日があるから 虹が出る
苦しみ抜くから強くなる
進む道も 夢の地図も すべては心の中にある
助け合える友との思い出を 何時までも大切にしたい
進む道も 夢の地図も それはふるさと
めぐり合いたい人がそこにいる
優しさ拵けて待っている
山も 風も 海の色も 一番素直になれる場所
忘れられない歌がそこにある
手と手を繋いで口ずさむ
山も 風も 海の色も
君のふるさと
僕のふるさと
ここはふるさと



信愛女学院生徒の農園作業(昭和16~19年ごろ)



昭和40年頃の城北運河



桜並木が美しい現在の城北川

三つの汽車の歌

岩河 三郎／編曲

「汽車」 文部省唱歌

大和田 愛羅／作曲

今は山中 今は浜 今は鉄橋渡るぞと
思うまもなくトンネルの 闇を通過して広の原
遠くに見える村の屋根 近くに見える町の軒

森や林や田や畑 後え後えと飛んでゆく
回り灯籠の絵のように 変わる景色の面白さ
見とれてそれと知らぬ間に 早くも過ぎる幾十里

「汽車ポッポ」

富原 薫／作詞 草川 信／作曲

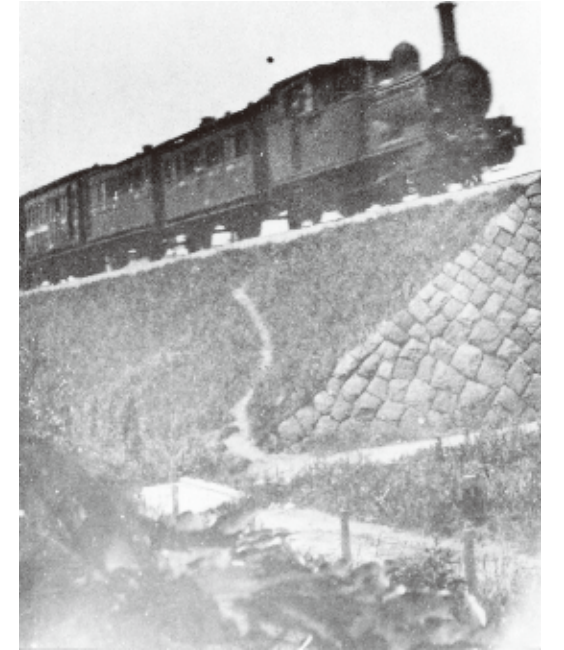
汽車汽車 ポッポポッポ
シュッポシュッポシュッポッポ
僕らを乗せて
シュッポシュッポシュッポッポ
スピードスピード窓の外 畑も飛ぶ飛ぶ家も飛ぶ
走れ走れ走れ 鉄橋だ鉄橋だ 楽しいな

汽車汽車 ポッポポッポ
シュッポシュッポシュッポッポ
汽笛を鳴らし
シュッポシュッポシュッポッポ
愉快だ愉快だいい眺め 野原だ林だほら山だ
走れ走れ走れ トンネルだトンネルだ 嬉しいな

「汽車ポッポ」

本居 長世／作詞・作曲

お山の中行く 汽車ポッポ ポッポ ポッポ黒い煙を出し
シュッシュッシュッシュッ 白い湯気出して
機関車と機関車が 前引き後押し
なんだ坂こんな坂 なんだ坂こんな坂
トンネル鉄橋 トンネル鉄橋 トンネル トンネル
トントントントんと登り行く



八幡神社から片町線を望む(大正13年5月)

明治28年(1895年)8月、私鉄の浪速鉄道が片町一四條間に開通しました。現在のJR学研都市線の前身で城東区域内には放駒駅ができました。同じ年の10月には、同じく私鉄の大阪鉄道が玉造一大阪間を開通、当区域には京橋駅ができました。すでに5ヶ月前に、玉造一天王寺間が開通しており、のちに国鉄城東線となり現在の大阪環状線となります。

明治31年、前年に浪速鉄道を買収合併した関西鉄道は新たに網島駅(都島区)を開業し、片町から網島に起点駅を変更し片町駅の旅客営業を廃止しましたが、明治38年に片町駅の旅客営業を再開し、明治45年には京橋、新喜多駅(大正5年に廃止)を開業しました。

明治43年4月には京阪電鉄が天満橋一五條間を開業し、当区域内には蒲生、野江駅ができましたが、当初は路面電車で京街道を通過していました。鉄道の開通により、住民の足の便は改善され、それまで農業に従事していた人も大阪市を中心部に職を求めはじめ、城東区域の住宅地化も急速に進展しました。



蒲生1丁目の踏切を通過中の蒸気機関車
向こう側で今福行きの市電が待っています。その向こうに京阪電車のガードが見えます。(昭和31年8月)